

# 先見経済

Management & Economic Information SENKEN KEIZAI Since1938

特集

## 徹底検証! 退職金問題が抱える経営の危機 ～退職金・年金制度の現状とこれからを探る

特定非営利活動法人 日本FP普及協議会専務理事 田中和男

シリーズ・この国の未来

### 「重要な国民の老後と医療費と介護の問題 いま、必要なのは、この3つの どれを優先するかという議論だ」

衆議院議員 加藤紘一

聞き手/国民政治研究会理事長 田中克人

Top Interview

### 「先人の生き方や知恵を学び、 人生や価値観について考える」

東海大学体育学部教授、NPO法人柔道教育ソリダリティー理事長

山下泰裕

聞き手/株式会社プロ・アクティブ代表 山口哲史

前号に引き続き、今号も山下泰裕氏のお話を  
お届けします。今号では、山下氏に指導者にと  
つて必要な視点と自身の生き方、そして品  
格について伺いました。



Photo/高取剛充

東海大学体育学部教授  
NPO法人柔道教育ソリダリティー理事長

## 山下泰裕

聞き手/山口哲史 株式会社プロ・アクティブ代表

# 先人の生き方や知恵を学び、 人生や価値観について考える

自分を磨き、  
人間力を高める

### 相手を磨くためには まず自分を磨く

山口 山下先生は名選手であり名監督です。よく、名選手は名監督になりにくいと言われます。その理由として、「自分ができたことが他人ができないもどかしさ」が挙げられますが、山下先生にもありましたか。

山下 ありましたし、たくさん失敗もしました。選手から監督になって、自分自身、熱意はあるし、実績があるだけに変な自信もある。でも、私と同じ経験を持つ人は自分以外にはいません。それなのに、相手の状況も把握しないで、自分と同じことをさせようと一方的に言っても、うまくいくはずがなかったんです。

山口 自分の思うように、相手は動いてくれませんか。

山下 私は以前、元早稲田大学ラグビー部監督の日比野弘先生に、選手を指導するときに気をつけていたことを聞いたことがあります。すると、日比野先生は「一番気をつけたことは、自分の責任を選手に転換しないこと」と言われました。

山口 よく、うまくいかない「何やってんだ、何回教えたら分かるんだ」と相手を怒鳴る光景を見ます。

山下 はい。でも、日比野先生は「山下さん、これは正しいと思うか。この言葉の裏返しは『責任は全部お前にある』という意



## 【ホスト】山口哲史 Yamaguchi Tetsushi

1961年兵庫県生まれ。関西学院大学商学部卒業後、リクルートなどを経て90年、現（株）プロ・アクティブの前身のフィールド・アクティブを設立。竹100%でできた繊維など自然でピュアなエネルギーを活用した「人を自然に輝かせる（ラディアンス）」力のある健康、美容商品の企画・販売を手掛ける。社内外ともに「ガッツさん」の愛称で親しまれている。

<http://www.pro-active.co.jp>

味だよ」と。私たちが選手に対して「何やっつてんだ」と言うのは、相手のレベルを見極めず、一回言っただけで、指導したつもりになっただけで、ほかなりません。でも実際は、教えたことは選手の心に届いておらず、身につけていない。つまり、その責任は選手ではなく、自分にあるんです。

だから「私は何でこんなことも教えられなかったんだ」と、自分の責任として考えたとき、はじめて自分自身の成長があります。そして、その後に選手の成長があるんです。

**山口** 確かに、「何やっつてんだ」と相手の責任にするよりも、自分の責任としてとらえたほうが遥かに自分を成長させます。

**山下** 人間そんなにできていないから、反射的に言ってしまうこともありますが、言った後に考えなくてはなりません。

**山口** というと、きつい言い方をして傷つけてしまったと思ったときは素直に謝るなど、自分が認めたくないことも認めるように意識しているのですか。

**山下** 私自身、少しずつ素直になってきていると思います。ですから、自分に否がある場合は、それを認めて謝ることは大事なことです。こうして視点を考え、何とか相手を伸ばしたい情熱を持って、創意工夫を凝らすことで、少しずつ失敗から学び、自

分も相手も成長することができるとです。**山口** これは、人を育てたり、指導する立場の方にとって、大切なことですね。

**山下** 最終的には、人物の魅力に人はついてくると思います。何かいい仕事をしよう、成果を上げよう、としたときに大事なこととは人間力ではないでしょうか。具体的なスキルはその一部に過ぎない。人間力とは、その人の持つ人間的魅力のことです。

**山口** 確かに、人間的魅力があれば、この人と一緒に仕事をしたい、この組織の中で自分も何か役割を担っていききたいという思いにもなり、相手はついてきますね。

**山下** だからこそ、他人を磨こうと思うなら、まずは自分を磨くことです。相手を磨くことより、自分を磨くことに重心を置く。そんな自分の姿を見て、自然に相手も成長してくるのではないのでしょうか。

**山口** 相手を磨くことに重点が置かれ、自分を磨くことがおろそかになりがちです。だから、まず自分を磨くことは大切なことですね。

**山下** そのときに磨くのは指導法や知識はもちろんですが、一番磨くべきは人間の魅力につながる価値観や信念、いわゆる自分の仕事や人生に向かう姿勢です。

**山口** 例えばどのような姿勢ですか。

**山下** 私の理想は、自分の限界や夢に挑戦していく中で己れを磨き、自分自身が人間として成長していくことです。もちろんスポーツでも何でも勝利を目指すことは大切

なことですが、人間として成長をすること、充実した人生を送るといって、人生での勝利を目指す姿勢が理想ですね。

**他人からの指摘ではなく自ら学び気づいていく**

**山口** 指導者の影響は大きい。それだけに、より一層努力して、自分を磨いていく必要がある。だからこそ、山下先生は多忙ながらも、さまざまな勉強会にも参加されるのですね。

**山下** 普通、人は組織の中で、上司からいつも厳しい叱咤を受けて成長をしていくのです。しかし、私にはそうした環境がない。だから、心配になるんです。先人の生き方や知恵などから学ぶことは大切なことだと思いますから。先人の生き方や知恵に触れると、いかに自分が私利私欲に偏った、小さな人間なのか感じます。こうしたことは、他人から指摘されても受け入れるのはなかなか難しい。だから、いろいろな人の本を読んだり、勉強会に参加することは、気づきをうるうえで意味があります。

**山口** 自己洞察するための勉強には、勇気が必要だし、手間もかかります。だから、先延ばしにしてしまい、結局やらないうえに日々が過ぎてしまうことが多いですよ。

**山下** 私自身、大して勉強しているわけではありません。でも、少しずつ続けて積み重ねていくことで、それなりの厚みになります。勉強することは、専門性を高めるだ

## 相手の責任ではなく、自分の責任としてとらえる